

中央公園広場 4者が期待する整備の方向性

2021.1.19

目次

(1) 本資料の位置づけ	1
(2) 中央公園及び周辺地域を含めた空間づくりの方向性	2
(3) 中央公園広場再整備に関するランドデザイン	4
(4) 中央公園広場再整備に関するランドデザインを実現する発注方式 ...	7
(5) 集客目標	8
(6) 中央公園広場のゾーニングと活用イメージ	11
(7) 各ゾーンのイメージ	12
(8) スタジアムパークへのアプローチイメージ	22
(9) イベント活用イメージ	23
(10) 防災計画イメージ	26

(1) 本資料の位置づけ

本資料は、今後のスタジアムDB発注、Park-PFI発注の実施に当たり本エリアをどのように発展させていきたいか、「中央公園サッカースタジアム（仮称）基本計画」を基にこれまでに議論を重ねてきた4者が期待する「整備の方向性」としてまとめた資料である。

中央公園広場の立地特性を最大限活かし、市内のみならず、県内外からの集客効果・波及効果が期待できる場所となることを目標としている。

これまでの議論を踏まえて、本資料は、ゾーンの設定、ゾーンごとに具備する機能の方向性を示したものであるが、提案に参加する民間事業者においては、より自由な発想によりこの資料が示す方向性を基に具体的で、実現可能性が高く、かつ魅力あふれる提案を期待するものである。

(2) 中央公園及び周辺地域を含めた空間づくりの方向性

① ゾーニング及び施設の再配置等に関する取組

※「中央公園の今後の活用に係る基本方針」(R2.3)より抜粋

こどもゾーン

家族連れを中心に安心して訪れることができ、未来を担う子供が遊び学べるゾーンとする。

【中・長期的な取組】

- こども文化科学館、こども図書館の中央公園内への集約・多機能化及びファミリープールの機能移転を行う場合には、同敷地を活用した子供の遊び場空間の再整備を検討する(例:大型複合遊具やじゃぶじゃぶ池などの整備)。

スポーツ・レクリエーションゾーン

多様化するスポーツ需要に対応するとともに、多世代がアクティブに活動・交流できるゾーンとする。

【短期的な取組(概ね5年後まで)】

- 広島の新たなシンボルとなるサッカースタジアムを中央公園広場に建設するとともに、年間を通じて多くの人が訪れる魅力ある空間となるよう、スタジアムのスタンド下等に効果的にぎわい機能を導入する。

【中・長期的な取組】

- こどもゾーンにおける子供の遊び場空間の再整備と連携した空間活用を検討する。

歴史ゾーン

広島城の築城から始まった広島の歴史を肌で感じてもらえることができるよう、歴史的な雰囲気を感じ出す中心的なゾーンとする。

【短期的な取組(概ね5年後まで)】

- 天守閣の耐震改修等を進めるとともに、展示機能の充実を検討する。
- 三の丸を活用したにぎわい施設などの整備を検討する。
- 中央バレーボール場を廃止し、観光バス駐車場(約60台)の整備を検討する。

イベント・集客ゾーン

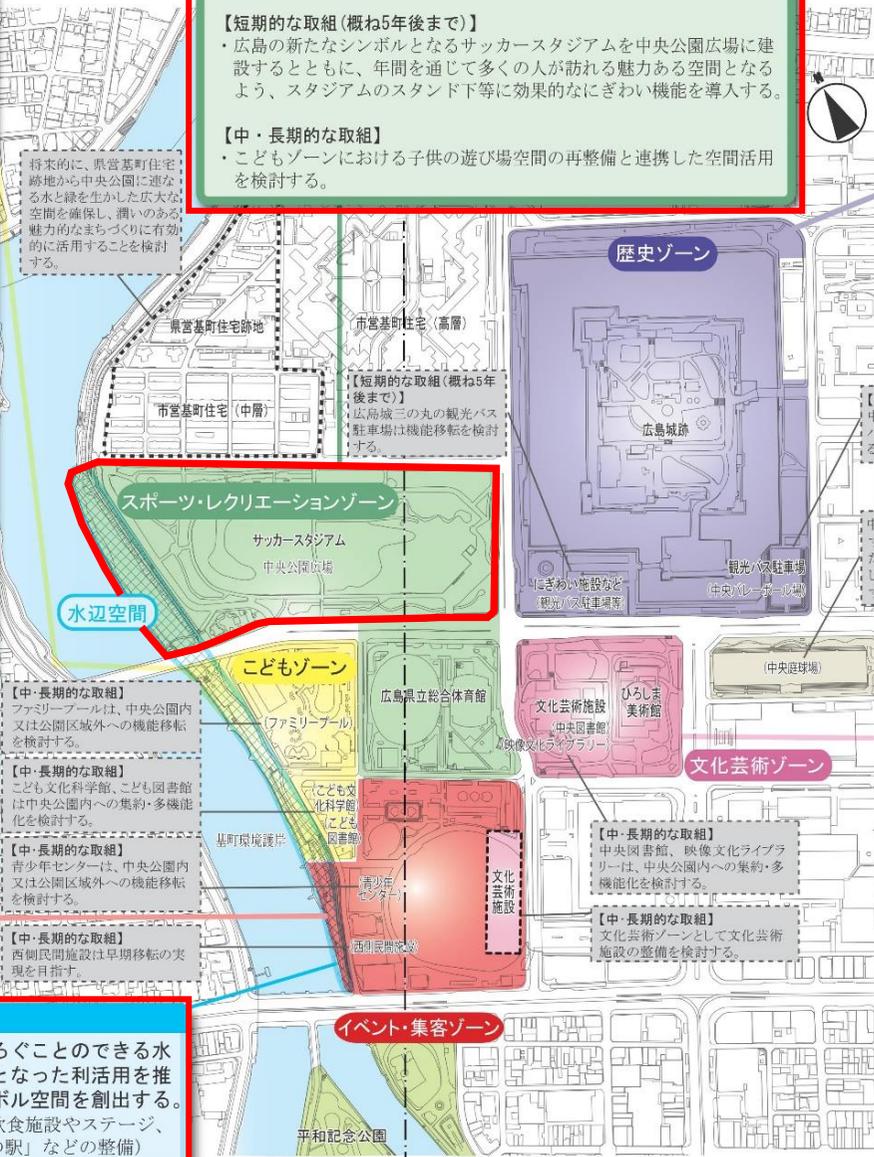
平和記念公園や水辺空間と一体となった緑豊かなオープンスペースを中心としたゾーンとするとともに、年間を通じて多様なイベントが開催され、若者を中心とする多くの市民や平和記念公園を訪れる観光客を引き付けるにぎわいとおもてなしの心が感じられるゾーンとする。

【短期的な取組(概ね5年後まで)】

- 市民や観光客等の来訪者が日常的に憩い、くつろぐことのできる花と緑にあふれる洗練されたオープンスペース及び、国際的な大会から日常的な行事まで大小様々なイベントが常時開催されるイベント広場を整備する。
- イベント参加者を始めとする来訪者が気軽に立ち寄れる飲食物販施設を誘致する(広島の「食」を楽しめるなど、おもてなしの機能を付加できるよう配慮)。

【中・長期的な取組】

- 青少年センターの機能を中央公園内又は公園区域外に移転することを検討するとともに、西側民間施設の早期移転の実現を目指す。なお、青少年センターは中央公園内の公共施設の中でも特に築年数が経過していることから、その機能移転については、より幅広い年齢層の市民が多様な目的で利用できるような施設とする観点から、若者を含む幅広い世代が集うサッカースタジアムとの調和が図られるよう配慮しつつ、優先的に検討を行う。
- イベント・集客ゾーンと水辺空間を分断する基町パーキング(地下駐車場)のアクセス道路を地下化し、水辺空間と一体となった潤いのある空間の整備を検討する。
- 文化芸術施設の整備に合わせて、イベント広場等の再構築や市営駐車場の同施設内への移転等を検討する。



水辺空間

市民や観光客等の来訪者が日常的に水に親しみ、くつろぐことのできる水辺づくりを推進するとともに、隣接するゾーンと一体となった利活用を推進することにより、「水の都ひろしま」の新たなシンボル空間を創出する。

(例:水辺を臨むロケーションを生かし、景観に配慮した飲食施設やステージ、ベンチなどの設置、水上交通などが発着できる「川の駅」などの整備)

歴史ゾーン

【短期的な取組(概ね5年後まで)】

- 中央バレーボール場を廃止し、観光バス駐車場(約60台)の整備を検討する。
- 中央庭球場は、区域内にこだわらず、機能移転を検討する。移転した場合の跡地は公園区域から除外し、新たな都市機能の導入を検討する。

文化芸術ゾーン

市民の文化芸術活動や優れた文化芸術鑑賞の拠点とするとともに、広島らしい文化芸術を国内外に発信するゾーンとする。また、中央公園の中間に位置するゾーンの立地特性を踏まえ、平和記念公園と広島城をつなぐゾーンとする。

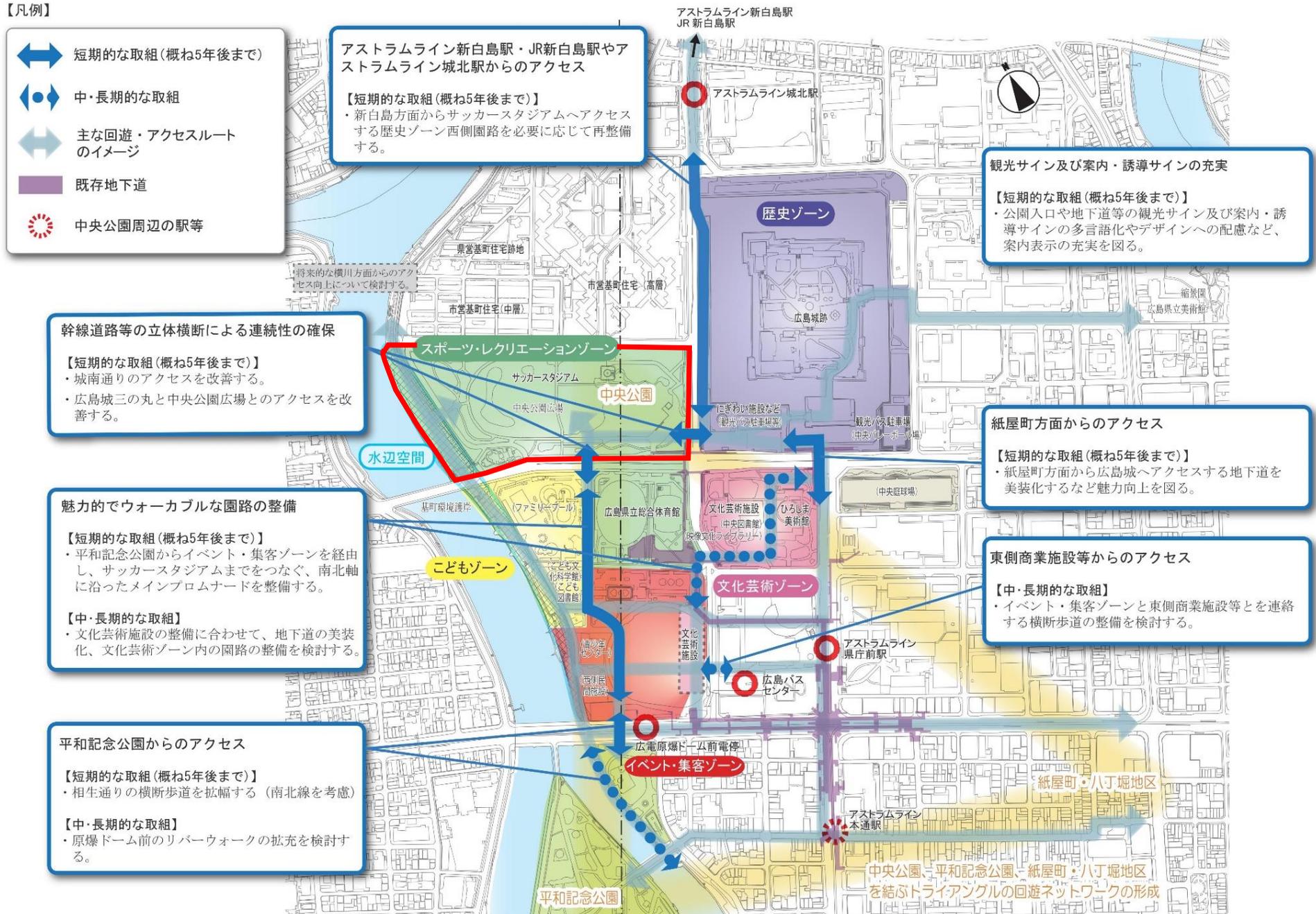
【中・長期的な取組】

- こども文化科学館、こども図書館、中央図書館及び映像文化ライブラリーの集約・多機能化に加え、質の高い文化芸術を鑑賞できるホールやコンベンション機能などを有する文化芸術施設の整備を検討する。なお、コンベンション機能については、当該施設内の会議室等を周辺の大規模コンベンション施設のサブ会場としても活用するなど、中央公園周辺のコンベンションの受入環境を向上させることを検討する。
- 広島バスセンターの現地建替えに伴い、仮設のバス乗降場を必要とする場合、文化芸術施設の整備予定地を活用すること及び当該活用後に文化芸術施設を整備することを検討する。

(2) 中央公園及び周辺地域を含めた空間づくりの方向性

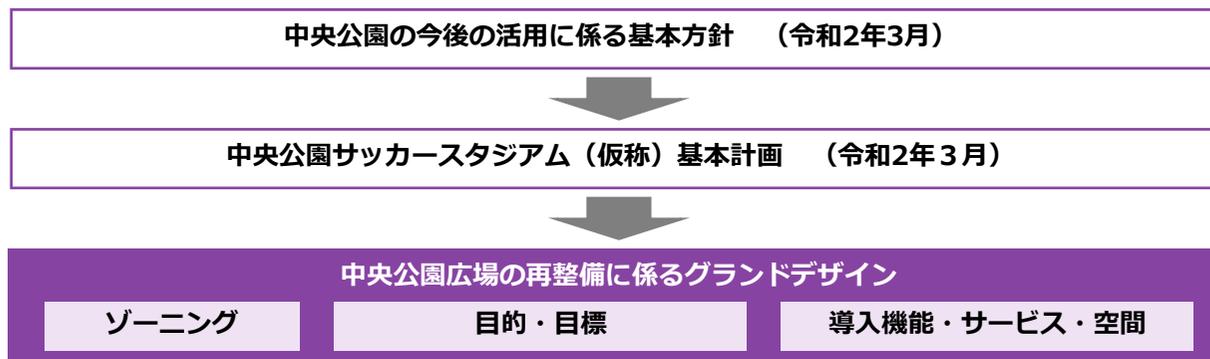
② 回遊性・アクセス性に関する取組

※「中央公園の今後の活用に係る基本方針」(R2.3)より抜粋



(3) 中央公園広場再整備に関するランドデザイン

① グランドデザインの位置づけ



■ 各計画の要点

「中央公園の今後の活用に係る基本方針」(令和2年3月、広島市)

◆ 活用に当たっての基本的な考え方

【にぎわいの空間】

若者を中心とする多くの市民や平和記念公園を訪れる観光客を引き付ける、魅力あるにぎわいの空間

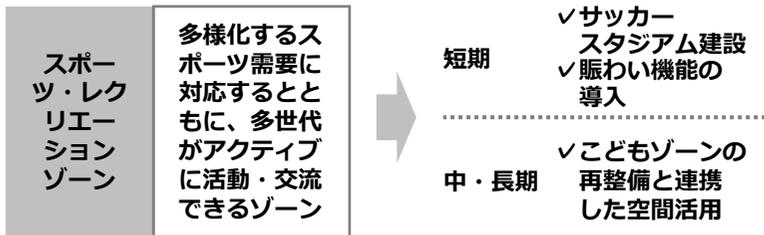
【くつろぎの空間】

広島の特徴である「水」と「緑」を生かしながら、都心における花と緑にあふれたくつろぎの空間

【文化を醸し出す空間】

国際平和文化都市の顔として、広島を歴史を踏まえつつ、質の高い文化・芸術・スポーツを満喫することができる、また発信する空間

◆ 空間づくりの方向性(中央公園広場)



「中央公園サッカースタジアム(仮称)基本計画」(令和2年3月、広島市)

◆ 整備方針

「街なかスタジアム」の実現

みんなで作るサッカースタジアムの実現

広島らしさの発信

◆ 中央公園広場全体の目指す姿(ビジョン)

～みんなが集まる“わくわく”スタジアムパーク～

- ・ 平和のまちを象徴し、開かれ、公園と一体となったスタジアムパーク
- ・ 多くの市民・県民に親しまれ、多世代が楽しめる多目的スタジアムパーク
- ・ 世界中の人々が訪れ、広島を魅力を発信するスタジアムパーク

◆ サッカースタジアムの目標像

世界に誇れるサッカースタジアム機能を核とし、多目的かつ多機能化した都心交流型スタジアム

◆ 広場エリアの目標像

子供から大人まで多様な利用者が年間を通じて集い・交流できる拠点性の高い空間

(3) 中央公園広場再整備に関するランドデザイン

② 機能配置のポイント・広域ゾーニングイメージ

中央公園内の 2つのエリアの役割分け

【中央公園広場エリア】

スポーツ交流を中心に広域からの集客のマグネットになりうる目的性の高い施設

【旧市民球場跡地エリア】

スタジアムや周辺エリアのエントランス、相生通からの接点として、新たな賑わいを創出



両エリアで賑わいを創出し、
良い相乗効果が生まれるよう、
連携



(3) 中央公園広場再整備に関するランドデザイン

③ 365日賑わうスタジアムパーク実現のために



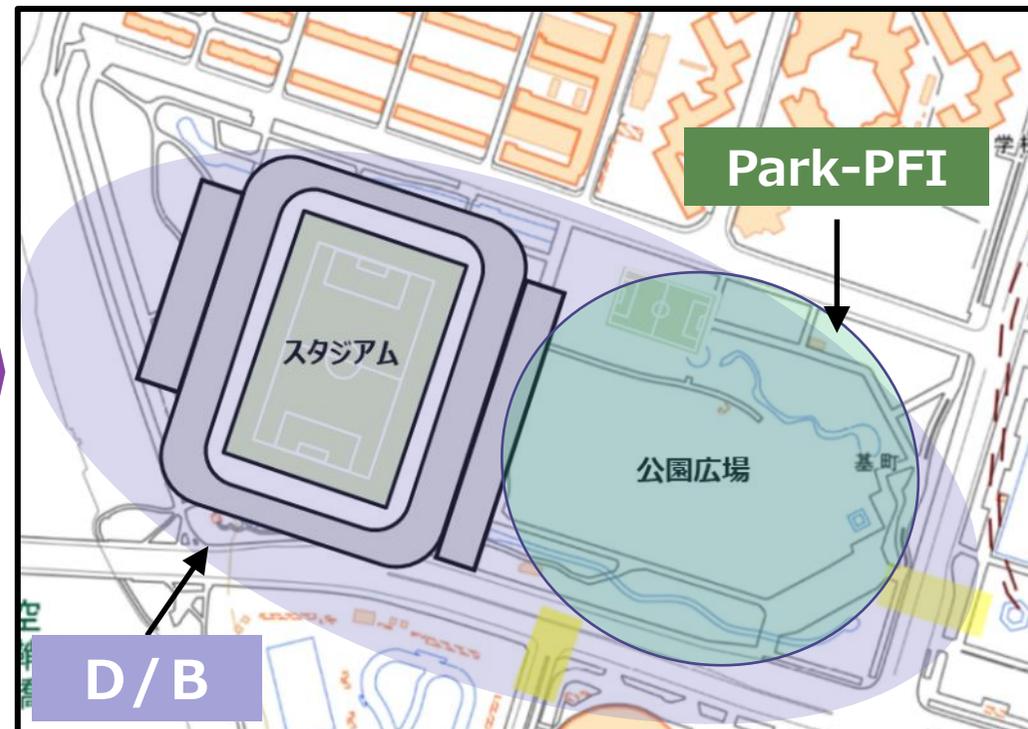
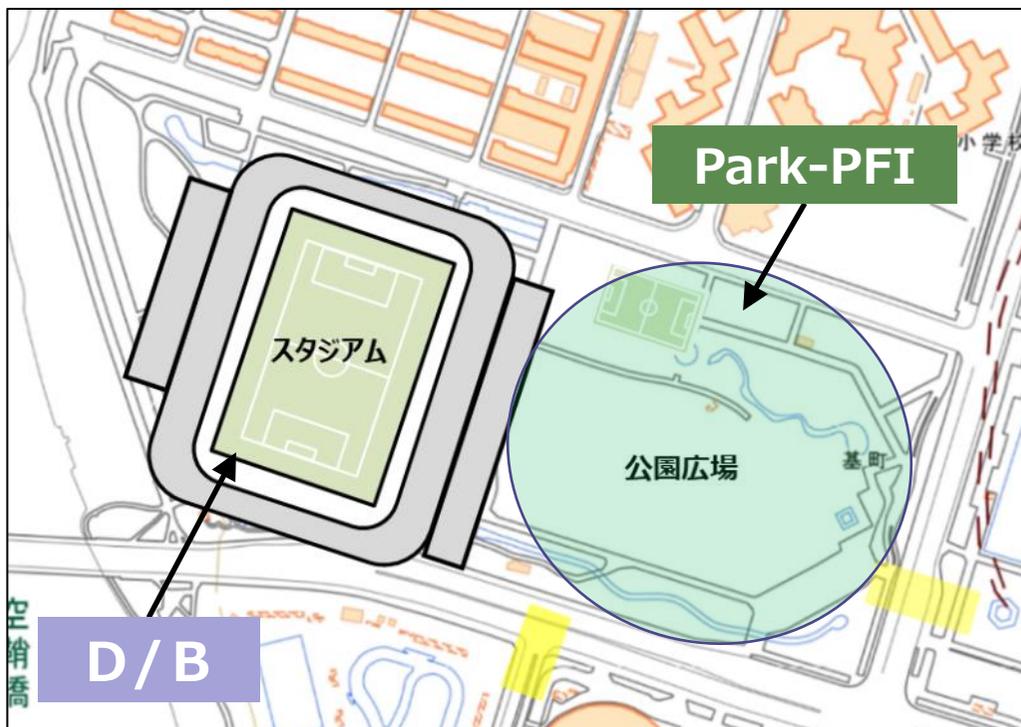
- 1 広島初 都心で青空と広大な芝生空間を満喫
- 2 フットサルコート、プレイランド（体験施設）や飲食店が並ぶ、年代を問わず多くの人で賑わう上質な公園空間
- 3 スポーツと健康に支えられた新たな都市生活の提案
- 4 日常的に「楽しい」に出会える魅力的なイベント開催
- 5 周辺のランドマーク施設と至便な交通アクセスに恵まれたポテンシャルの高い立地特性を活かす
- 6 紙屋町・本通り等の既存商業エリアとの連携
- 7 周辺観光地を訪れる国内外の観光客を誘引する広島らしさの提供や体験

スタジアム管理者とPark-PFI事業者（広場管理者）が緊密に連携（運営協議会、LLPもしくはSPC等の一体的枠組み）

遊びに行きたい・働きたい・住みたい・暮らしたい
広島の魅力発信の契機とする

(4) 中央公園広場再整備に関するランドデザインを実現する発注方式

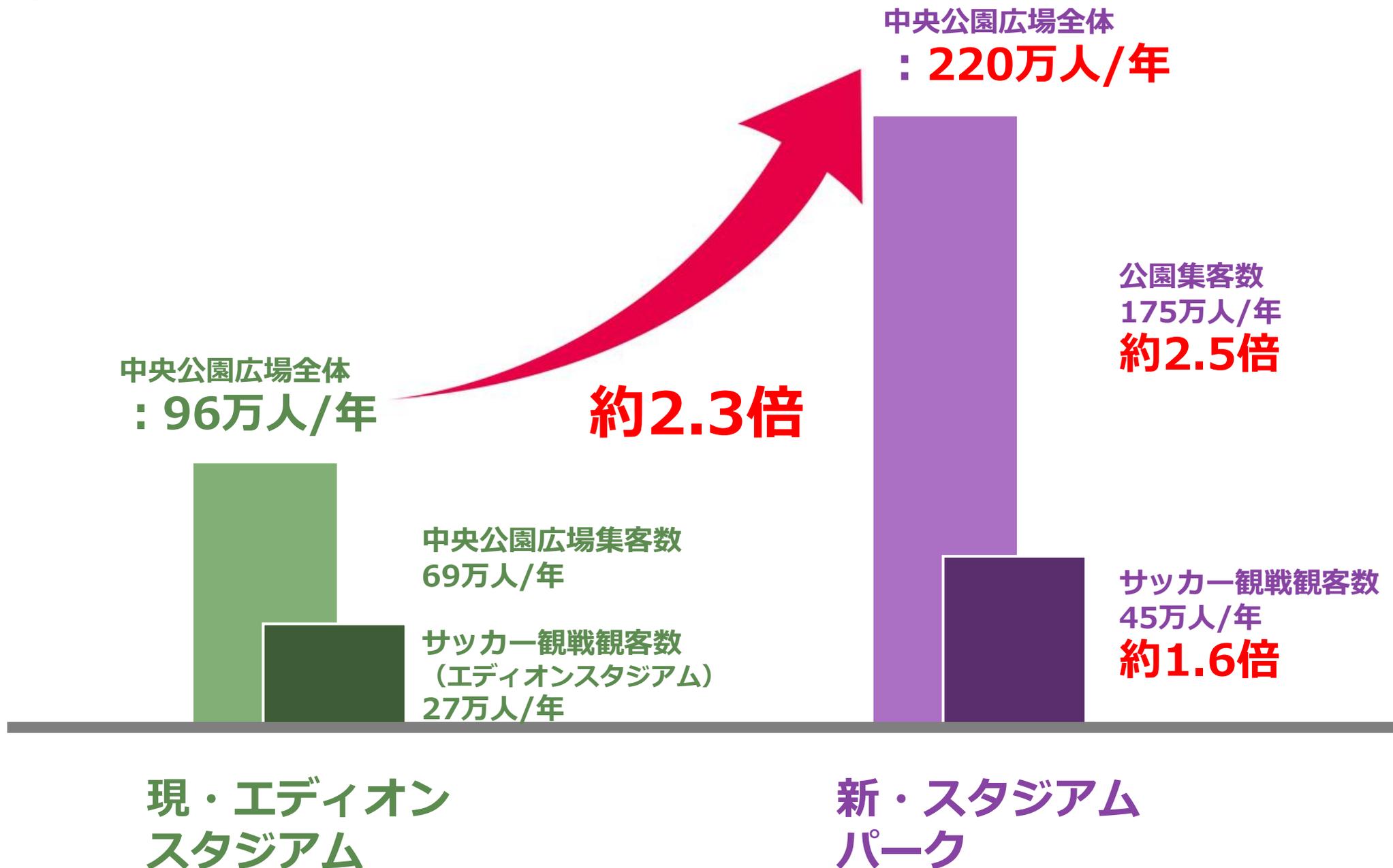
スタジアムと公園広場の設計コンセプトの一体性、統一された世界観の実現



スタジアムと公園の基本部分はデザインビルド方式で整備、
そのうえで広場部分をPark-PFIで整備し、コンセプトの一体性を確保
⇒ DB事業の優先交渉権者の提案に基づき、
Park-PFI事業者がデザインを展開することで統一された世界観を実現

(5) 集客目標

① スタジアムパークのK P I



(5) 集客目標

② スタジアムパークの集客内訳

新・スタジアムパーク整備後

目的別
内訳

サッカースタ
ジアム試合日
54万人

スタジアムパーク
91万人

イベント
75万人

プロサッカー観戦
国際試合
アマチュア利用等

日常的：飲食店、物販店、スタジアムツアー等
特定目的：運動施設利用、こども遊具施設利用、
体験型ミュージアム等

合計220万人

エリア別
内訳

市内
110万人

県内 (除く市内)
59万人

県外
51万人

市内
1.6倍

県内
2.8倍

県外
6.9倍

合計220万人

2.3倍

エリア別
内訳

市内
67.8万人

県内
20.8
万人

県外
7.4万人

合計 96万人

サッカー観戦観客数 (エディオンスタジアム) : 27万人, 中央公園広場集客数 : 69万人

現状
中央公園広場

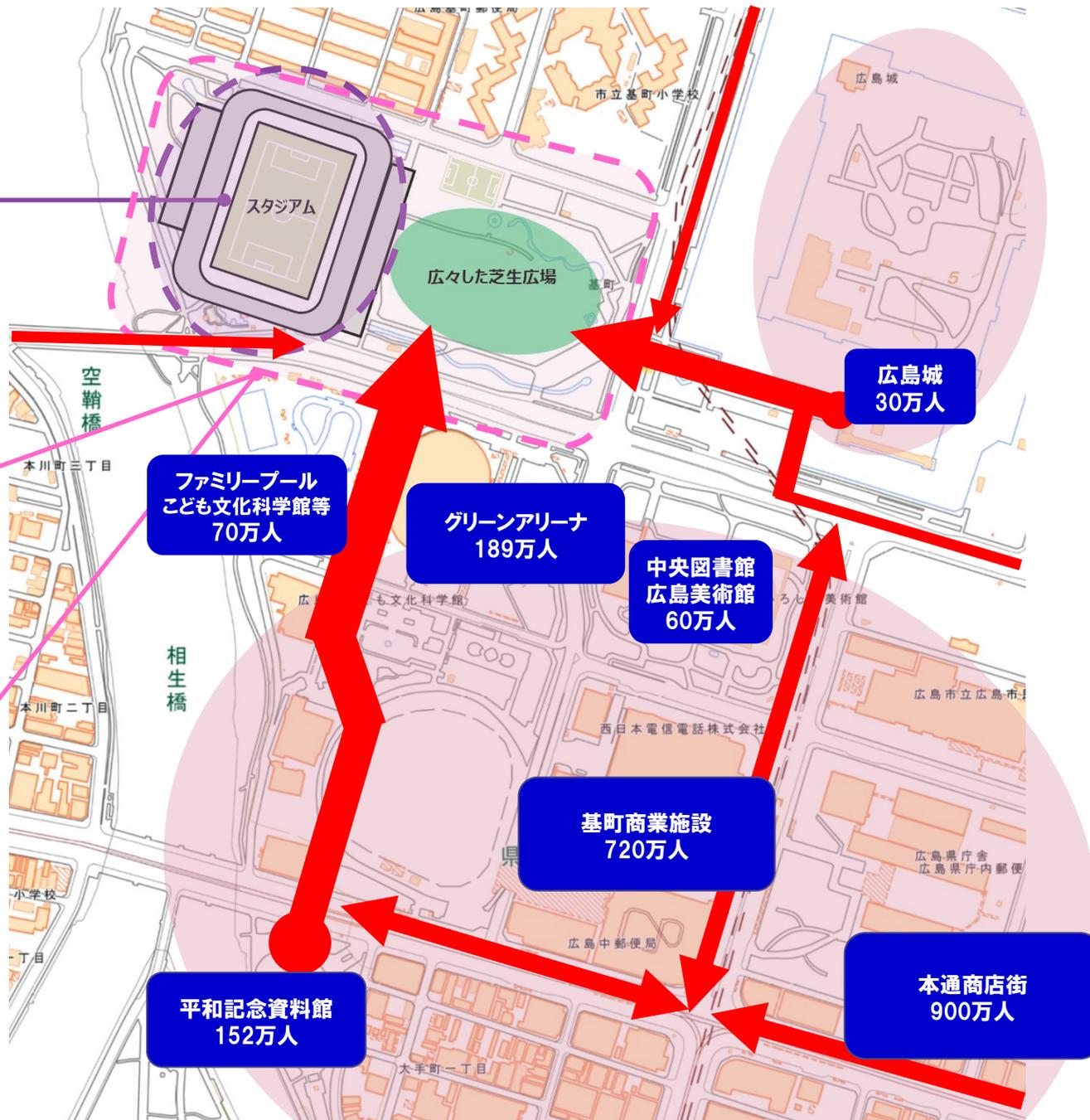
(5) 集客目標

② スタジアムパークの集客内訳

サッカースタジアム
試合日：54万人

スタジアムパーク
：91万人

イベント
：75万人



※青枠内の数字は、周辺に集積する集客施設等の現状

(6) 中央公園広場のゾーニングと活用イメージ

スタジアムゾーン

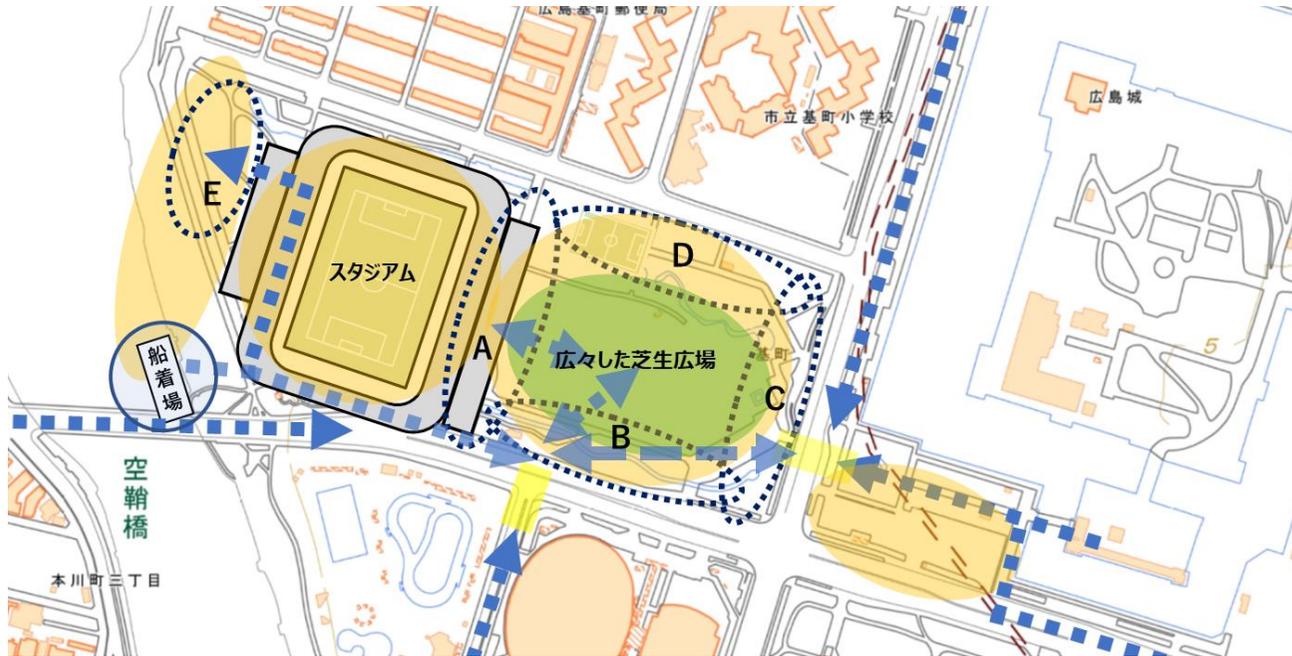
世界に誇れるサッカースタジアム機能を核とし、多目的かつ多機能化した都心交流型スタジアム

- 臨場感のある観客席
- 光・音映像の共演
- 多様な観戦スタイル
- 周回コンコース
- 売店

Tottenham Hotspur Stadium



出典：alloutfootball.co.uk



広場ゾーン

多様なイベント会場として活用でき、都心で憩える青空と広大な芝生空間

- 芝生広場
 - 多様なイベント
- 南池袋公園



出典：豊島区

Aゾーン

~STADIUM ACCESS ZONE~

スタジアムと公園をシームレスに繋ぎ、連携する機能の配置

- スポーツ
 - ミュージアム
 - カフェ・レストラン
- Allianz Field



Bゾーン

~PARK LIFE-STYLE ZONE~

県民・市民に、都市の中の公園の心地よい環境を提供し、最大限に活かす機能

- カフェ・レストラン
 - コミュニティ施設
 - ショップ
- 大阪天王寺公園“てんしば”



Cゾーン

~HIROSHIMA STYLE ZONE~

広島のようなモノやコトを体験・購入できる場所

- カフェ・レストラン
 - ショップ
 - イベント
- 大阪城公園



出典：大阪城公園公式HP

Dゾーン

~SPORTS & COMMUNITY ZONE~

子供の知育、県民の体づくり・健康寿命増進に寄与する、スポーツアクティビティ機能の配置

- 子どもの遊び場
- 屋外スポーツ施設



Eゾーン

~RIVER SIDE & WELLNESS ZONE ~

旧太田川に接する親水環境・眺望を活かしたウェルネスコミュニティ機能

- BBQ施設
- キャンプ
- 水辺アクティビティ拠点
- 信濃川・ミズベリング事業



出典：新潟市

(7) 各ゾーンのイメージ 【Aゾーン】 STADIUM ACCESS ZONE

スタジアムと公園をシームレスに繋ぎ、連携する機能の配置

体験型ミュージアム



スタジアムビューホール



グッズショップ



体験

e-sports



オンリーワンのものづくり
+バーチャル体験



スタジアム